



## 急な退院後の訪問看護開始・・・



平素は格別のご贔屓にあずかり、誠にありがとうございます。  
お陰様で、今月1周年を迎えました。皆様からご支援、ご利用頂き継続できました。  
在宅療養者の生活の中に介入することは、お家の事情や人間関係、勘違い、被害妄想、理解力低下で、支援者が悪者になる事は日常茶飯事です。在宅は生活の場なので、仕方無いのでしょうか。  
寄り添いながら、俯瞰できる距離感を持ち、支援者が悪者にされても決して傷付かない、怒らない、責めない精神力を保つ事、仕事は頑張らず、楽しんでする事、それが出来る環境作りを心がけました。

2年目はスタッフ増員し、もっと面白い事をしていきたいと思えます。事務所移転も検討しております。  
在宅医療、訪問看護に興味のある方、一緒に働きたい方、推薦したい人をご存知の方、是非ご一報下さい。  
働き方は人それぞれ、ご相談させてください。2年目もご声援、宜しくお願い申し上げます。  
今回も事例紹介をさせていただきます！



今回は、『**介護認定無しで急な退院後の訪問看護開始から卒業へ**』をご紹介します。ホームページも開設しております。『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきてくださると嬉しいです🐦今後ともよろしくお願い申し上げます。(橋井)

C様。80歳代後半男性。現病歴：Ⅱ型糖尿病、前立腺癌ホルモン治療中。要介護1 認知症なし。ADLはキープ。奥様と同居で奥様が主介護者。毎朝晩の血糖値測定とインスリン注射(7単位)。  
近隣医で糖尿病治療中、器質化肺炎でステロイド投与、その後糖尿病ケトアシド症で入院。大学病院から急な退院、訪問依頼の連絡が入り、訪問開始。退院時介護認定希望せず、申請なしの医療保険利用で、自己血糖値測定手技とインスリン注射手技指導、状態観察、医療相談で2週間連日訪問し、奥様に手技を習得して頂く。その後介護認定申請を勧め、結果が出るまで医療保険で、3回/日訪問。認定後は介護保険制度説明とケアマネ紹介インフラ整備後、介護保険で訪問。インスリンや内服薬のアドヒアランス良好、お二人でセルフケアや手技の習得が良好に進み、毎月の受診ではインスリン投与単位減少していく。「いつまでこんな注射しなければならないの？」と何度もおっしゃっていた。「順調に血糖値が安定していますよ。インスリン注射中止になった方もおられます。」と励まし続ける。5ヶ月後自己インスリン注射や血糖測定が中止になり、一旦訪問卒業となった。自己管理の素晴らしさを褒め、元気になり訪問看護を卒業できることは喜ばしい事で、体調変化があればまた連絡してくれば良い事と伝える。  
その後、繋がっていないと心配なので1回/月30分の訪問看護継続となりましたが、順調に健康維持でき、活動性も高まり、ご夫妻で穏やかに過ごされています。訪問看護師は病院と自宅を近くし、急な退院時もインフラ整備のお手伝いを致します。介護保険利用や医療と介護を繋いで行く役割も担います。



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に**医療相談**や**訪問看護お試しサービス**を無料で行ってしております。お気軽にお問い合わせください！



Facebook  
ございます！



**24時間  
対応**

**ターミナルケア・お看取りも  
対応いたします**

### 訪問地域

その他の地域もぜひご相談ください！

世田谷区杉並区

松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤  
杉並区

永福・和泉・浜田山・下高井戸



〒156-0043  
東京都世田谷区松原3-27-38  
あとリエどまりおん2C

TEL: **03-6379-0683**  
FAX: 03-6379-0684

